

学校評価アンケート (R1 後期) より ～課題解決に向けて～ 2020, 1月

肯定回答の比較(教職員・児童・保護者)

80%以上 60%未満

※児童の頑張り、保護者・地域の皆様のご協力、教職員の取組により、多くの評価項目において肯定回答率の高いものも見られます。特に教職員・児童の肯定回答は前期と比べるとアップしているものが多くあります。しかし、依然として「学びの中の自己表現」「読書習慣の定着」「ボランティアへの参加」等の課題もあります。これからもそれぞれが工夫と努力を続け、学校、家庭、地域が一体となった「チーム牟礼」で課題を解決していきましょう。

◆牟礼小学校、牟礼地域(ミラタクネット)では、育てたい子ども像を「やさしい子(徳)」「進んで学ぶ子(知)」「元気な子(体)」の3つの側面からとらえ、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの成長を支えています。

ここでは、3側面の主な項目ごとに、教職員・児童・保護者の肯定回答率を示しています。(個別の項目の結果については学校だより「牟礼笑学考」1月号に掲載しています。)そして、「学校・家庭がすべきこと(現在の取組)」「地域に願うこと」「2者・3者が協働して取り組むこと」などをあげてみました。これ以外にも様々な取組や方法があると思います。学校にお知らせいただけますとありがたいです。よろしくお願いします。

1, やさしい子 (挨拶・返事)

※ ↑、↓、-は前期の%との比較を表しています。

教職員	児童	保護者
項目3 場に応じた言動 92%↑	設問2 あいさつ・会釈 86%↑ 設問3 はっきり返事 83%↓	設問1 明るいあいさつ 79%↑ 設問2 はっきり返事 79%-

2, やさしい子 (友だちを大切にした言動)

教職員	児童	保護者
項目1 友だちを大切にした言動 96%↑ 項目2 ルール、マナー、声かけ 83%↑	設問4 やさしいことば 80%↓ 設問5 仲良く《チャレンジ》 85%-	設問4 言葉遣い 83%↓ 設問5 思いやりある行動 83%↓

- 共通理解と共通実践…いつでも、どこでも、誰もが、誰にでも おとな(教師・保護者・地域の人)みんなが同じ指導!
- 「場面指導」が大切です。その場でタイムリーに。挨拶は叱咤と激励の両面から。気持ちのよい挨拶は”礼儀”です。ミラタクでの取組を全家庭で!
- 朝の会、帰りの会の工夫…AFPYの取り入れ。今日のキラリ、etc、各クラスで行っていきます。
- 開発的生徒指導…子どものよさの価値付け(トイレの履き物揃え)、全校キラリの継続(全校放送、可視化)に取り組んでいきます。
- やさしい言葉遣い…「子どもはおとな(教師)の鏡」学校でも指導します。ご家庭・地域でも望ましい言葉遣い・態度のご指導をお願いします。

3, 進んで学ぶ子 (見通しとふり返り→わかる学び)

教職員	児童	保護者
項目1 見通しをもった学習 96%↑ 項目3 学びのふり返り 91%↑	設問8 学習が分かる・楽しい 86%↑	設問7 学習が分かる・楽しい 78%↓

4, 進んで学ぶ子 (かかわり合いの場・自己表現)

教職員	児童	保護者
項目2 かかわり合いの場づくり 87%↑	設問9 話を聞く 88%↑ 設問10 ?を聞く《チャレンジ》 74%↓	設問6 自己表現 78%-

- 日常的な校内研究…同学年やブロックによる共同の教材研究、互見授業や指導案検討会、授業後の協議会などに取り組んでいきます。
- ※今年度は「課題設定とふり返り」「学びを深めるかかわり合い」を研究の柱に据えています。
- 考えを交流する授業づくり…45分の授業の中で、ペアやグループ、全体で考えを伝え合う場面を取り入れています。
- 組織的な取組…学力向上プランをつくり、見直しをしています。学年・ブロックで取り組むことを決定し実践していきます。
- やまぐち学習支援プログラムの活用…学校でも取り組んでいますが、ダウンロード・プリントアウトできるご家庭はぜひご活用ください。

5, 進んで学ぶ子 (読書活動・読書習慣)

教職員	児童	保護者
項目5 本に親しむ手立て 83%-	設問7 読書好き 83%↑	設問8 読書習慣の定着 50%↓

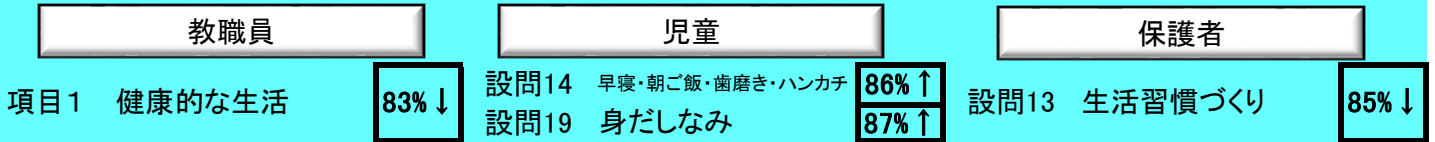
6, 進んで学ぶ子 (家庭学習)

教職員	児童	保護者
項目4 がんばりカード・支援プロの活用 87%↑	設問6 よく考えて問題解決 91%↑	設問9 学力向上に向けた努力 73%↑ 設問10 宿題の質・量 84%-

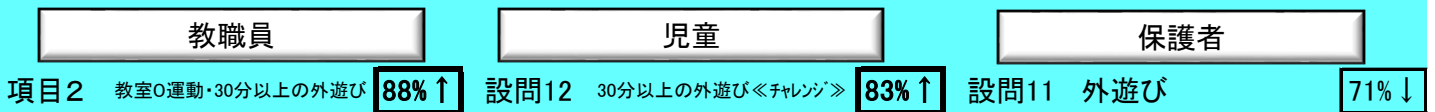
○多様な読書体験…ブックトーク、絵本リレー、集団読み、読み語り、読み合いなどの多様な体験を取り入れたいものです。本校では、おはなしポケットさんによる読み語り・おはなし会を、子どもたちがとても楽しみにしています。また、週3日学校司書が図書室で勤務しています。読書活動・環境はずいぶん充実しています。学校での取組と家庭での取組が並行していくことが理想ですね。テレビも付いていない、ゲームもしていない環境の中で、子どもも大人も読書に親しんでいる(実はそれがマンガであってもよいと思います。)静かな時間をつくりましょう。

○自主学習の習慣化…がんばっている子もいますが、もっとも裾野が広がっていけばよいと思います。学校では、学習内容の好事例を紹介し意欲につなげています。自学に励む子はノートづくりも上手です。(学年×10分+10分)の学習が習慣化するよう、ご家庭でもお声かけ願います。中学校との協議も行っています。牟礼中学校では、中1は、毎日自学を最低1ページと宿題プリントを1枚、中2は、1日に90分の家庭学習、中3は、新研究ノートの提出と漢検・英検に向けた学習に取り組んでいます。小学校と中学校の家庭学習がつながるよう、ご協力をお願いします。

7, 元気な子 (元気な子カード)



8, 元気な子 (外遊び)



○元気な子週間の取組継続…ご家庭の皆様のご協力に感謝します。今後も継続して取り組んでいきます。

○柔軟性や投力を高める運動…山口県では体力テストにおいて柔軟性と投力が課題となっています。柔軟性に関しては、長年朝の時間にストレッチに取り組み、柔軟性が向上してきました。また、投力に低い結果が出たので、昼休みに「投力向上ボール投げ」を行いました。特定の部位だけを使う運動ではなく、全身を使った多様な遊びが求められています。

○教室0(ゼロ)運動…「全員遊び」「みんな遊び」を含めた外遊びを推奨しています。外遊びは、特に集団遊びは体力向上だけでなく心の成長ももたらします。二極化解消に向けて遊びの楽しさを私たちおとなも子どもたちとともに味わっていきましょう。

○体育通信の発行…柔軟性や持久力向上の取組を紹介した体育通信を発行しています。ご家庭でもできることがあれば取り組んでみてください。

頼もしい助っ人 ALT クリスチャン先生



ALTとは、「Assistant Language Teacher」の略で外国語指導助手です。クリスチャン先生は、牟礼中学校の英語科、牟礼小学校、牟礼南小学校の外国語(英語)活動の指導をしてくださっています。いわば牟礼地域の英語指導の助っ人です。子どもたちは先生が来られる日を楽しみにしています。

”How are you?” ”I'm fine.”

”What sports do you like?” ”I like soccer.”などの会話や難しい発音なども楽しみながら身に付けていきます。いろいろな英語表現に慣れ親しみながら、先生や友だちとのコミュニケーションを深め、文化の違いを知る英語の時間は、私たち大人が習った英語の学習とは大違い。自然と学習内容を吸収していく子どもたちの姿に、先生の頼もしさと子どもたちの柔軟性を感じさせられます。

また、令和2年度より5・6年生の英語は、外国語活動から「英語科」にかわり、「読む」「書く」活動が加わります。つまり、中学校の英語の授業に近づくわけですが、その移行もスムーズに行われるでしょう。

12月14日に牟礼公民館において、「英語de遊ぼう」の教室があり、小学生がクリスマスを前にした楽しい時間を過ごしました。ここにもクリスチャン先生の姿がありました。牟礼中の佐伯先生、ボランティア中学生2名のかも借りて実現したこの活動はミラタケネットの企画によるものです。まさに、地域にとけ込んでいるクリスチャン先生。これからもよろしくお願いします。

実は先生は日本語の会話も上手で、結構難しい漢字の読み書きもとてもよくできます。とにかく勉強熱心で、謙虚で温かいお人柄です。多くの人にそのお人柄に触れてほしいと思います。

